

令和6年 第 2 回 議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

開 催 日 時	令和6年11月1日（金）14時05分 ～ 15時05分	
開 催 場 所	全員協議会室	
担 当 議 員	班代表者	玉川 実二
	司 会 者	森本 隆
	報 告 者	
	記 録 者	西山幸千子、野田 えり
	班 員 (上記以外)	堤 征一郎、谷川 光男、柴田はすみ
一般参加者数	高校生 5人	
主 な 質 疑 ・ 意 見 等	<p>◆メインテーマ「高校生から見た木津川市への想い」</p> <p>◆1班テーマ「木津川市のまちづくりについて」 (主にバス・飲食店について)</p> <p>高Q：勉強スペースが木津川市にはなぜ少ないのか。 議A：木津川市には3つの図書館がある。また、近隣の精華町には国立国会図書館があり若者の利用も多い。ICTが発展し、場所を問わない色んな学習が可能なので、参考にして学業に励んで頂きたい。</p> <p>高Q：中央図書館のHPには学生の勉強禁止と書いている。図書館で集中して学習できると思うが、禁止となっている理由は。 議A：中央図書館に6席、加茂図書館は4席、山城図書館には3席の勉強スペースがあるので、また一度利用してみて欲しい。</p> <p>高Q：外国人の受け入れが多く見られ治安が心配だが。 議A：いま1200人を超えているので心配ではある。しかし、少子高齢化で生産年齢人口が縮小していることから、それを補うために外国の方々に来て頂くのは必要なこと。</p> <p>高Q：外国人は何人くらいいるのか。 議A：10月1日時点で人口が7万9,635人。そのうち1212人で、約1.5%。</p> <p>高Q：何をしたいくて議員になったのか。任期の4年間で自分の目標を達成できそうなのか。 議A：木津川市をより良いまちにしたい。ごく普通の主婦でも議員になれるというところで、市民に政治を身近に感じてもらい、低下している政治参加を促したい。達成できることもあれば、まだまだ課題</p>	

<p>主 な 質 疑 ・ 意 見 等</p>	<p>が多いところもある。</p> <p>高Q：当選する倍率は高いのか。 議A：立候補する人数によって変わる。（2023 年の選挙では定数 20 人に対し 26 人立候補）</p> <p>高Q：子育ての支援方法(施設とか)について、今後どんな支援を増やしていくのか。 議A：木津川市では子育て支援センターで出産を控えているお母さんたちに向けた講座や交流の場を設けたり、働く保護者のために保育園や放課後児童クラブを設備として設けたり、子育てコンシェルジュが相談にのったり、以前から子育て支援には力を入れている。今後は、子育て中の方々に意見を聞いた上で充実させていくのが良いと思う。</p> <p>高Q：議会費は毎年見合った予算配分を考えているか。お給料はいくらもらっているのか。 議A：議会費は年間約 2 億 6, 0 0 0 万円。市の予算約 3 3 0 億円の 0. 7 5 % に当たる。2023 年は 2 億円だった。 議会費のうち議員の報酬に 1 億 4, 7 0 0 万円、議会の職員の給与に 4, 1 0 0 万円。議員報酬は月額 37 万円。議会運営費として 7, 2 0 0 万円使用している。7, 2 0 0 万円のうち 2024 年度は特に議場の音響映像システムの更新として 5, 0 0 0 万円の予算を組んでいる。</p> <p>高Q：木津川市を今後どんなまちにしていきたいのか。 議A：議員それぞれ想いはあると思うが、木津川市の総合計画の後期基本計画では、1『ともに「学び」「喜び」「成長し」未来を生きる子どもを育むまちづくり』、2『誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり』、3『一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり』、4『人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり』、5『災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり』、6『快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり』、7『効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり』と記されている。 このまちに住んでよかった、住みつづけたい、まちづくりに励んでいく。</p> <p>高Q：木津川市をどうしていきたいか。 議A：国宝もたくさんあり、観光面で力を入れたいのでホテルを誘致したい。夜間や休日の救急医療体制を整える。駅の周りの開発、人が集まってくるような地域に。福寿園のお茶が飲める。日常会話が普通にできる。卒業しても地元で就職できるようなまちづくり。</p> <p>高Q：上狛・棚倉方面へのバスが少ない。バスの本数が極端に少ないところがある。</p>
----------------------------	---

<p>主 な 質 疑 ・ 意 見 等</p>	<p>議 A：合併したのがみなさんの生まれたころ 2007 年で、3 つの町はそれぞれで形態の異なるバスが運行されていた。上狛・棚倉方面へのバスが少ないと普段から感じているかもしれないが、他にも少ないところがある。どうしても利用者が少ないと本数が減ったり、デマンド型（予約式）になったりする。ずっと住み続けるためには、移動手段の確保は重要。</p> <p>高 Q：バスの本数が極端に少ないところがある。</p> <p>議 A：運転できない高齢者や学生にとっては重要な移動手段であるが、経営的に赤字になると継続するのが難しく、本数が少なくなってしまう。</p> <p>高 Q：当選までに苦労したこと。当選できなかったら、どんな仕事をするのか。</p> <p>議 A：1 期目はそれまで普通の主婦だったので、どれだけ自分のことや自分がやりたいことを知ってもらうかを伝えたこと。 普通の主婦に戻り、地域のボランティア活動をしていたかと思う。</p> <p>高 Q：もともと何の仕事をしていたのか。</p> <p>議 A：今で言う ICT の会社情報システム会社に入社し製造部から営業までいろいろ経験した。そのうち 3 年間は海外勤務。その後には大阪市立小学校の民間校長。</p> <p>高 Q：木津川市にある廃墟（古い空き家）の対応についてどう考えているか。</p> <p>議 A：旧の集落にはかなり空き家が増えてきている。子ども（相続人）がもう住んでいなかったり、連絡がつかなくなったりするが、条例で空き家対策として調査などを進めている。空き家を登録して、紹介したりということもやっている。</p> <p>高 Q：歩道が狭く人が一人やっと思えるような道があるが、どうにかできないか。</p> <p>議 A：住民から地域の役員に伝え、市の方に情報をあげてもらう形になる。昔の基準は 50～75 センチが基準だったが、今は 2.5～3.5 m など広がっている。地域の課題として言ってもらおう。</p> <p>高 Q：木津駅前に飲食店が少ない。①飲食店の積極的受け入れはしないのか。②まちづくりとして有効な「電動キックスケーター」や「自転車」のレンタルサービスを増やし、活動範囲を拡大すれば。</p> <p>議 A：上狛の地域にコンビニはあるが、（飲食店は）全くない。誘致しなければいけないと思っている。商工会も協力してもらわないとできない。自転車のレンタルサービスの拡大は、できたらいいと思っているが費用対効果で判断されるが、私らも努力する。</p> <p>議 A：レンタサイクルなどは（イベント時には）試験的にやっているが、どれだけ利用されているか把握できていない。</p>
----------------------------	---

高Q：能登地震があり、改めて木津川市の防災と避難所について市のHPを調べた。HPを見ると「飲酒と喫煙がOK」となっていた。喫煙と飲酒をする年代の方も多いかもしれないが、未成年も多いまちなので不安に思う。

議A：木津高校は（水害の時は）高台なので避難所に適していると思う。木津川が決壊したらかなりの場所が水に浸かる。そういう意味では避難所がまだまだ必要と考えている。

議A：喫煙（・飲酒）に関しては、「できる」ってことに引っかかっているのだと思う。ただ、避難所に「来ないでください」とはならないので、喫煙場所とかのスペースを設定すると思う。いまニーズとして多いのはペット同伴の避難。新しいニーズに応じて避難所のあり方も変わってきている。常にどうするのが良いかを意識して行動してほしいと思う。

高Q：上狛小学校と棚倉小学校が統廃合するとかの話を聞いて、小学校までの移動手段や小学校の運営とかどうなるのかなど、近くに住んでいるので気になっている。

議A：上狛小学校がいま103人でずっと減ってきている。今はまだ決まっていないけれど、今後統合など検討される問題。

議A：山城地域だけの問題ではなく、加茂地域でも同じような問題がある。トータルで考える問題でもあり、関心を持ってほしい。

高Q：南山城支援学校での交流会に参加した。調べると、全国的にも支援を必要とする子どもたちが増えている。支援を必要としている子どもたちに対して教育の支援方法とか、支援学校を新しく用意するとか、そのサポートの方法とか、木津川市は今後どんな体制を整えていくのが気になった。

議A：支援学校は京都府立であり、いろんな地域から通学している。井手町にも支援学校が新しくできたが、普通学校にも行けるが支援が必要という子も増えきている。学校の先生が減ってきていて、支援学校ではより（専門的な）知識も必要で小さい時からその子に合った支援ができるようにすることが求められているが、なかなかできていないのが現状。

高Q：木津駅前のロータリーのスペースが広い歩道の部分で、バイクが（走り）騒音が気になる。このところ増えてきていて家が近いのでよく聞こえる。具体的な対策を考えているのか。

議A：本来は歩道などへ逆走も含めて侵入してはいけない場所。木津川市で、というより警察の仕事で、警察の方でも把握しパトロールをしているがイタチごっこになっている。個々人ではそうでもないけれど集団になるとそんな行動になるようで、警察から注意を促すよう依頼することになる。

	<p>高Q：山城中学校近くのJAとバイパスの交差点で事故が多い。自転車で通ったりするときに柵が曲がっているのを見る。対策はされているのか。</p> <p>議A：信号をつけてほしいとかは要望している。道路がそれぞれ京都府と木津川市の管理になっているため、難しい部分がある。気づいたことは知らせてほしいし、地域からも要望が上がると徐々に改善につながる。</p>
質問・要望 等で行政側 へ報告すべき内容	
その他 特記事項	

上記のとおり、報告します。

令和6年11月29日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

令和6年第2回議会報告会

第1班 代表者 玉川 実二